

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年8月4日～8月10日)

2020年8月12日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- 中央選管、各候補者の得票率暫定結果発表(8/10)
- 大統領選挙後、国内各地で反ルカシェンコ勢力による集会が発生(8/10)
- オストロヴェツ原発第一ブロック、核燃料の積み込み開始(8/7)
- ルカシェンコ大統領、プーチン露大統領と電話会談(8/7)
- ルカシェンコ大統領、国民と議会に対する教書演説(8/5)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

- ミルジョエフ・ウズベキスタン大統領と電話会談(8/10)

両者は、両国の経済貿易潜在性の効率的な活用など、二国間関係発展に向けた事項が協議された。また両者は、近い将来、両国首相、担当の副首相が、相互協力をどの方向に活性化していくか定義する必要があると合意した。

(8/10 大統領公式ホームページ)

- 各国首脳より大統領選再選の祝電やお祝いの電話を受領(8/10)

8月10日時点での受領状況は以下の通り。

祝電:

- ・習近平中国国家主席
- ・プーチン露大統領
- ・ミルジョエフ・ウズベキスタン大統領
- ・トカエフ・カザフスタン大統領
- ・モレノ・エクアドル大統領
- ・ジェンベコフ・キルギス大統領
- ・エルドガン・トルコ大統領
- ・ナザルバエフ・カザフスタン初代大統領

お祝いの電話:

- ・アリエフ・アゼルバイジャン大統領
- ・ラフモン・タジキスタン大統領

(8/10 大統領公式ホームページ)

- レベジエフ CIS 執行委員会書記長と会談(8/10)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・新型コロナウイルス感染拡大が続く中、自分の目で選挙の状況を直接見るために、恐れることなくベラルーシに訪問頂き感謝申し上げます。貴方の口から注意や提案を受けることを嬉しく思う。しかし貴方は、我々が人々に祭日を贈ろうとしていたこと、それに対し人々がどのように反応したか見たであろう。

・選挙は、歴史的な投票数であった。投票所に、子供を連れ家族で来ていた人々もいた。人々が小さな子供達と投票所に来ているところを見て感動した。これは祭日である。しかし、誰かはこの祭日を壊したいと思っている。我々は彼らを見た。彼らは、あの夜いつにも増して輝いていた。我々は、海外からの電話を記録した。ポーランド、イギリス、チェコから電話があった。

・直近、多くの人々が安全の観点からベラルーシ入国を拒否されている。書類が偽物であったり、何の目的で入国したいのか不明確であったりした。しかし、夜に彼らは歩き回り警察を攻撃しようとしたり、実際に攻撃した。それに対し警察は適切に持ち堪え、対応した。

(8/10 大統領公式ホームページ)

- ミンスク州プホーヴィチ地区を訪問、ベラルーシ国立バイオテクノロジー社を視察(8/10)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・国立バイオテクノロジー社の建設は、中国 CITIC 社が実施した。建設作業は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く期間においても継続され、建設予定から遅れるどころか、予定を早めることが出来た。塞翁が

馬である。新型コロナウイルスは全世界で経済を止めたが、そのおかげで CITIC 社はベラルーシでのみ建設が出来た。我々が国を閉鎖しなかったことが、幸いした。

・習近平国家主席の決定がなければ、本案件は実現していなかった。この案件は、中国国民からの、そして習近平国家主席からの贈り物である。

(8/10 大統領公式ホームページ)

### ●大統領選投票(8/9)

投票後、記者会見を実施したところ、ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・私は、大統領選挙における国家の状況が管理下にあることを保障する。これは、現政権の最大の課題である。

・直近、170 名のベラルーシ入国希望者が、ビザが偽物である、あるいは、入国理由を説明できないという理由で入国拒否されたと、国家国境委員会から報告を受けた。

・状況を過小評価してはいけないが、国家が明日以降、混沌と対立、紛争に陥ると言える根拠は全くない。

・最近、ベラルーシでは変なことがたくさん起きている。私は、何が起きているのか、ずっと考えていた。結論は単純である。お金である。お金が全てを決める。お金が有り余っている人が、現政権と闘うためにそのお金を投じている。様々な説があるが、いずれもお金が動いている。

・(今回の大統領選挙がこれまでの選挙で最も困難であったか、という記者からの質問に対し)最も困難であったとは言わないが、最も困難な選挙の一つであった。

・仮にあなた方が自身の意見を述べる場合、私はそれを歓迎する。私は、対話する用意がある。しかし、あなた方が挑発するならば、同様に挑発を受け取ることになる。政権を覆そうと、何かを破壊しようと、誰かを侮辱しようと、私があなた方に跪くのを待っていると、そんなことにはならない。法律に従い行動して欲しい。

・他候補支持者に対して圧力を加えたことはないし、

これからも加えることはない。法を遵守していただきたい。法を違反されれば、我々は相応な形で応答する。我々は常に治安部隊を抑制してきた。

・選挙運動は、法律に基づいて実施された。他候補による最後の選挙演説については、警察や治安当局は参加者を保護したのである。我々は人々を心配し、保護したのだ。

・ミンスク市内に 6 つの広場がある。そこでデモをしてもかまわない。しかし、好き勝手なところでデモを行う様であれば、法律に従って対応する。人々に迷惑をかけるようであれば、責任を追及する。選挙後、自身の意見を述べたいのであれば、どこかの広場で法律に従って自身の意見を述べて欲しい。

・(他国からの制裁を恐れないか、という記者からの質問に対し)我々は制裁がどのようなものか既に知っている。

・新型コロナウイルスに伴う経済への影響について、ベラルーシでは、経済成長の兆候が見られ、金準備高は増えている。ベラルーシが経済危機から脱する兆候が見られる。

・ベラルーシは、他国と協力する用意がある。ベラルーシは欧州中央部に西口、東口の窓を持ち、南北に出口を有する家である。地政学的に欧州中央に位置し我々は全ての国と協力せざるを得ない。ロシアとの関係については、平常化することを確信している。プーチン露大統領と民間軍事会社戦闘員拘束事案について詳細に調査することを合意し、ウクライナもそれ調査に加わった。またベラルーシは、中国と輝かしい関係を築いている。

(8/9 大統領公式ホームページ)

### ●ミンスク州を訪問し、収穫作業を確認(8/8)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・今年の穀物生産量は、10.5 百万トンあれば、家畜やベラルーシバイオテクノロジー企業を養うのに十分である。バイオテクノロジー企業は国外からも穀物買い付けを行うだろうが、できれば国内で製造したい。そのため、10.5 百万トンは達成する必要がある。

・アブラナの生産量を数%向上し、栽培費用を削減す

べきであろう。アブラナは、お金でもあり、薬でもある。  
・農業機械は十分にあるが、丁寧に使用すること。そうすれば、機械は長持ちする。農家の農業機械用の燃料購入に際する支払期限の延期については、大統領府に検討を要請する。

(8/8 大統領公式ホームページ)

### ●プーチン露大統領と電話会談(8/7)

両者は、新型コロナウイルス感染状況、同感染症に対するワクチンの開発、ベラルーシにおける大統領選挙について協議した。プーチン露大統領は、両国の兄弟関係の更なる発展の重要性と、否定的な傾向や状況を悪化させる第三者の行動に対立する必要性を指摘した。また、両者は、露民間軍事会社の戦闘員 33 名の拘束について協議し、同事件解明に向けた双方の意欲が強調された。両大統領は、本事件に関する真の発生理由の特定、責任者の発見、責任の追及を行うために最大限具体的かつ詳細に事実を調査することを合意した。

(8/7 大統領公式ホームページ)

### ●安全な選挙運動実施のため会議(8/6)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・期日前投票が行われており、選挙が開始されたのは自明であるが、これまでの経験を踏まえ、もう一度現状評価を行い、必要に応じて、直近の安全保障のための追加策を策定するのは過度ではないだろう。状況の詳細は既に明らかになっており繰り返す必要はないが、新しい状況があれば報告し、それに適した提案をして頂きたい。

・国家公務員、軍人、選挙管理委員会メンバー、政権に従事する者を侮辱したり、脅かしたりする者は全て、責任を追及される。国内を不安定化させようと試み逮捕された者が少なからずいる。マスメディアは、米国やNATOが我々を占領しようとしていると脅している。米国パスポート保持者や、米務省に勤務する米国人と結婚している者が逮捕されている。

・この巧妙なトリックの中でお金が全てを決めている。どこの国や党に属しているかは意味を持たない。ロシ

アにおける選挙前の運動(注:憲法改正国民投票)に参加し、金を受け取り、今日ベラルーシで暴れている。お金が目を曇らせ、顔が青ざめてしまった。金を支払う人のために歌う。これが、謎解きである。そのような人が少なくない。

・国内の不安定化を防ぎ、疑いのある者を発見するために国民とより積極的に相互協力していく必要がある。国民が我々に誰がどこで何をしているのかを教えてください。

・露民間軍事会社戦闘員 33 名の拘束について、ロシアとウクライナの検事総長をベラルーシに招待する。ロシアとウクライナと締結した国際条約を机上に置いてほしい。国家捜査委員会と国家安全保障委員会が捜査情報を提出しよう。三者(ロシア・ウクライナ・ベラルーシの検察)で解決してほしい。もし彼らがベラルーシに来なければ、彼ら抜きで解決しよう。

・投票しようとする全ての人々が、攻撃や邪魔について危惧することなく安心して投票できるようにしなくてはならない。依然、9日と10日に人々をマイダンに招集しているものがある。ミンスクの中心でたき火を煽り、ミンスク全土に燃えかすを飛ばすことがないように祈る。我々はそれを許容できないし、許容することもできない。

(8/6 大統領公式ホームページ)

### ●ゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談(8/5)

両者は、今秋グロドノで予定されているベラルーシ・ウクライナ地方フォーラムの準備、新型コロナウイルス感染状況、両国間国境管理と国境管理省庁間相互協力について協議した。ゼレンスキー大統領は、ベラルーシで拘束された戦闘員について言及し、彼らがドンバスにおける戦闘に参加していたことを説明した。

(8/5 大統領公式ホームページ)

### ●ゴルドン・ウクライナ記者の単独インタビュー(8/5)

ゴルドン記者は、ルカシェンコ大統領と2時間半に及ぶインタビューを実施した。インタビューでは、ウクライナにおける紛争、外交等、他国首脳とルカシェンコ

大統領の相互関係、大統領選挙が近づく中でのベラルーシ国内の発展について質問がなされた。ルカシェンコ大統領はインタビューにおいて自身の内政・外交について「不平等と感じるところがあれば、私は受け入れられない。平等こそ、私が試みようとするもの、あるいは、何らかの政策を実行するための基本である。法律において、全ての事が記載されているわけではない。」と答えた。

(8/5 大統領公式ホームページ)

### ●国民と議会に対する教書演説(8/5)

演説の要旨は以下の通り。

・全世界的な挑戦や脅威は、その発生の環境や原因が数千キロ離れていようが、我々(ベラルーシ)を含め、例外無く全ての国に関連している。ベラルーシは、ヨーロッパの中心に位置し、国際情勢や経済貿易の一連の完全なる参加者である。そのため、我々は、現在の状況を国際関係の文脈において検討しなければならない。

冷戦時に誇っていた国際的な紛争解決手段は、実質的に無政府状態に陥っており、残念ながら大国は新たな解決手段を策定する状態ではない。この状況において、貿易紛争が政治的、軍事的な表面にあふれ出し、各国の不安定化の要因となっている。

現在、ベラルーシは、この地政学上の割れ目におり、ユーラシア大陸における唯一の安定した輪となっている。それゆえに、我々は「分裂」の憂き目に遭っている。ベラルーシは、誰かと敵対するものとは友好しない。我々は、多角的かつ一貫し予測可能な外交政策に賛成している。

結論として、我々はこの試練に耐え抜き、この不幸を乗り切った。盲人でないかぎり、それ(ベラルーシが新型コロナに打ち勝ったことを)を見ているだろう。我々はこの不幸との闘いにおいて、各段階で適切な措置を取ってきた。これは、ベラルーシの特別な手法と呼ばれている。今日、全ての国が、ベラルーシは正しい行動をしたと認めている。この緊張状態の中で、局地的な過ちや逸脱無しでやり過ごすのは不可能であろう。多くの人が不満を抱えている。しかし、重要な

ことは。当局が、批判に対し適切な対処をしたことである。我々は瞬間に失敗の修正に尽力した。大統領は、毎朝、毎晩、本部から報告を受け、政府と地方の作業を調整した。

新たな五か年計画を策定していくうえで、ソ連時代から、そして、中国と日本から模範例をとるべきである。そこでは常に厳格な計画があり、投資対象、投資金額、資金源が明確に規定されていた。その方式でこそ、地方の調和のとれたな発展と生産能力の割り当て問題が解決できる。

(8/5 大統領公式ホームページ)

### ●ミンスク州・ミンスク市執行委員会委員長、各州執行委員会副委員長と会談(8/4)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・ベラルーシの、ひいてはソ連の良き伝統として、我々は常に選挙を人々にとっての真の祭日として実施してきたことを忘れないように。食事やコンサートが準備されていた。投票を実施して、音楽を聴くことができた。今回も、このような祭日を忘れてはならない。

・投票に来た人々が、我々が十分な水準で投票場所の安全を確保していなかったと文句を言ってこないようにしなくてははいけない。治安部隊は、人々を守るため相応の事実に対し厳格に反応しなければいけない。恐喝や侮辱、暴力は始めの段階で阻止しなくてははいけない。

・投票権を持つ全ての人が選挙に参加する必要がある。老人や障害者、新型コロナウイルス感染者に対して、彼らも投票できるように助けてあげる必要がある。

・今回の選挙では、約4万5千人の監視員が登録され、これは記録的であり、海外の監視員も含まれる。海外の監視員は、新型コロナウイルスも恐れずベラルーシに訪問するなど英雄的である。彼らに対して相応の対応をすべきである。

・本選挙は、ベラルーシの法律に基づいて、ベラルーシ国民の利益のために実施される。もし、誰かが他の期待を持っていたとしたら、それは無駄である。ベラルーシの法律、ベラルーシ国民が重要である。

(8/4 大統領公式ホームページ)

## 外交

### ●マケイ外務大臣、ラブロフ露外務大臣と電話会談(8/10)

両者は、ベラルーシにおける国外勢力の内政干渉という文脈における状況の進展に関し意見交換した。また両者は、然るべき認証なく、違法にベラルーシで活動するロシアのマスメディアに関連する問題について協議した。

(8/10 ベルタ通信)

### ●マケイ外務大臣、ジェフェリー・ジユク駐ベラルーシ米国臨時大使と会談(8/7)

マケイ外務大臣は、大統領選挙実施に関連したベラルーシの状況について説明した。

(8/7 ベルタ通信)

### ●マケイ外務大臣、メーゼンツェフ駐ベラルーシ露大使と会談(8/6)

両者は、統合プロセスにおける相互作用やベラルーシにおける大統領選挙、同選挙 CIS 監視団ロシア代表の参加に関し、協議を行った。

(8/6 ベルタ通信)

### ●マケイ外務大臣、レベジエフ CIS 執行委員会書記長と会談(8/5)

両者は、2020 年下半期に予定されている CIS 各種会議の準備や CIS 枠組みにおける多方面の協力、大統領選挙に対する国際機関による監視の実施について協議した。

(8/5 ベルタ通信)

### ●マケイ外務大臣、リンケヴィチユス・リトアニア外務大臣と電話会談

マケイ外務大臣の発言要旨は以下の通り。

・オストロヴェツ原発に関して、ベラルーシはチェルノブイリ原発事故の最大被害国として、原発の最大限の安全保障を考慮しており、然るべき国際機関と協力し本問題に関する相互協力を継続していく用意が

ある。

・大統領選挙に関し、ベラルーシ政府は、外部からの干渉のない安全な選挙運動実施の保障に関心がある。国内の行動は、ベラルーシの法律に基づいて評価、検討されることに注意を向けていただきたい。ベラルーシ国家の脅威が発生した場合には然るべき対策を実施せざるを得ない。

リンケヴィチユス・リトアニア外務大臣の発言要旨は以下の通り。

・新型コロナウイルス感染状況の改善を考慮し、両国間の航空便を再開する。

(8/4 ベルタ通信)

## 経済

### ●2020 年上半期、ベラルーシ製品・サービス輸出額 去年同期対比 16.9%減少。

(8/10 ベルタ通信)

### ●ベラルーシ向け米国産石油第2ロット 7.6 万トン、リトアニア・クライペダ港に到着

(8/9 ベルタ通信)

### ●オストロヴェツ原発第一ブロック、核燃料の積み込み開始。

(8/7 ベルタ通信)

### ●ベラルーシ、金準備高、6 月に 11.63%、7 月に 0.7%増加し、8、857.5 百万ドルに到達。

(8/7 ベルタ通信)

### ●2020 年上半期、ベラルーシ農業生産品輸出額、6.4%増加。

(8/5 ベルタ通信)

### ●2020 年 7 月、ベラルーシカリ社の鉍石採掘量、カリ肥料生産量、月間記録を更新。

(8/5 ベルタ通信)

## **軍事・内政**

### **●中央選管、各候補者の得票率暫定結果発表**

ルカシエンコ:80.08%

チハノフスカヤ:10.09%

カノパツカヤ:1.68%

チェレチェニ:1.15%

ドミトリエフ:1.21%

全員に反対:4.6%

(8/10 ベルタ通信)

### **●インターネット接続不安定化**

ベルテレコムは「8月8日以降、外部IPネットワークからの接続が急増した。ここ数日、当社のシステムによって、当国国家組織に対する数多くのサイバー攻撃が観測されている。これにより、情報コミュニケーション機材の故障、負担過多が発生しており、インターネット接続に困難が発生している。当社は、8月10日中に修復すべく尽力を尽くしている。全ての専門家と技術資材を投下し、24時間体制で復旧作業が実施されている。」と述べた。

(8/10 ベルタ通信)

### **●大統領選挙後、国内各地で反ルカシエンコ勢力による集会が発生。**

夜から翌10日未明にかけて、首都ミンスクを始め全国各地で反ルカシエンコ勢力による集会が開催され、治安部隊が発光弾・騒音弾・放水などを用いて強制的に排除し、一部でけが人が発生した。

翌10日、内務省は9日夜から10未明にかけての各地集会において全国で約3000人を拘束したと発表。拘束された人数の内訳は、ミンスク市内が約1000名、その他各都市で計2000名強とされる。

(8/10 ベルタ通信)

(了)